



## 工事現場の安全パトロールを実施 -庄内地区-

8月29日(木)、庄内地区の2つの出張所(赤川砂防出張所・立谷沢川砂防出張所)と、それぞれの工事を担当する施工業者とが合同で「平成25年度 第1回庄内地区安全パトロール」を実施しました。

この日は総勢41名が赤川砂防出張所管内の砂防事業の工事現場を点検しました。

砂防事業の工事現場は、「土石流危険渓流」にあり、危険な条件の中で工事を施工しています。このようなことから携わる人々の安全を図り、安全に工事を施工するにはどう工夫し、どの様にして危険を予知しながら安全な工事現場を目指すのか、参加者全員で検討しました。

参加者一同は、工事事故の防止に官民一体となってより一層取り組んで行くことを決意し、この日の安全パトロールを終了しました。

なお、改善の必要があった箇所については、後日速やかに是正されました。



現場の安全点検



現場事務所の点検



検討会の様子

## 現場技術研修会

8月2日(金)、鶴岡市と新庄河川事務所が合同で「現場技術研修会」を開催しました。この日は、鶴岡市と新庄河川事務所の職員と地元代表者の総勢22名が参加し、鶴岡市朝日地区で稼働している工事現場や既設の砂防施設(砂防堰堤、集水井)を調査し、技術力の向上に努めました。

なかなか見ることでできない工事現場を見学することができ、大変有意義な研修会になりました。



排水トンネルの工事現場



集水井の現地調査



### 第3回現場技術研修会

- 月山地すべり田麦俣地区集水井調査(4号集水井と9号、10号予定箇所)
- 七五三掛地すべり排水トンネル見学(東北農政局庄内あさひ農地保全事務所)
- 早田川合流点～早田川砂防堰堤改良(スリット化)の河道状況調査
- 笹根トンネル起点部、終点部を調査

どしゃさいがい

# 土砂災害って何??



土砂災害とは大雨や地震で山やがけが崩れたり、水と混じりあった土や石が沢から流れ出して、家や田畑や道路を壊し、時には人の命までうばってしまうおそろしい災害です。

どせきりゆう

## 土石流



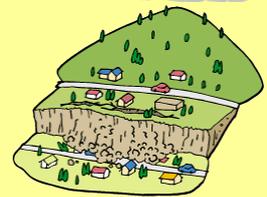
長雨や集中豪雨などで山の斜面が崩れ、大量の土砂が水と混じり合い、谷底の石や岩と一緒に一気に下流へ流れ出すものが「土石流」です。土石流は、一瞬にして家や田畑、道路などに大きな被害をもたらします。

## 地すべり



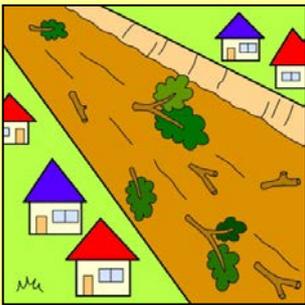
「地すべり」とは斜面の一部あるいは全部が重力によって斜面下方に移動する現象です。広い範囲にわたって地面が動くので、人家や道路がのみ込まれたり壊されたりして大きな被害をもたらすとともに、いったん動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

## がけ崩れ

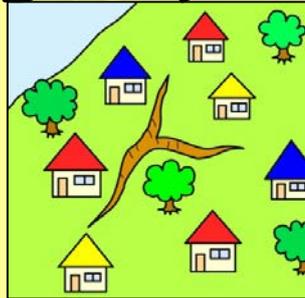


急な斜面が豪雨や地震で崩れ落ちるものが「がけ崩れ」です。がけ崩れは突然起こりスピードも速いため、家の近くで起こると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高いなど、大きな被害をもたらします。

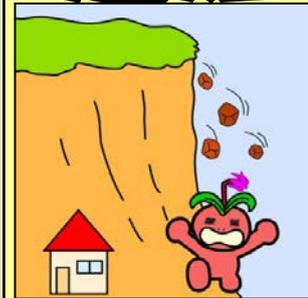
# こんな時は、早めに避難！



沢の流れが急に濁ったり、木が水と一緒に流れてきたとき。



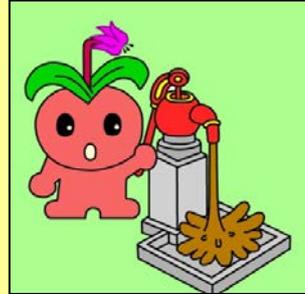
斜面の地面がひび割れたり、一部がへこんだり、もりあがったりしたとき。



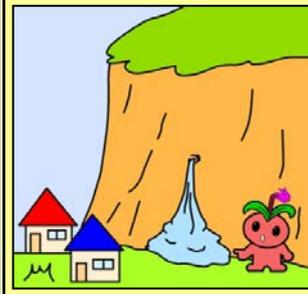
がけから小石がパラパラと落ちてきたとき。



「山鳴り」といって、山全体がうなっているような音がするとき。



斜面の井戸の水が濁ったとき。



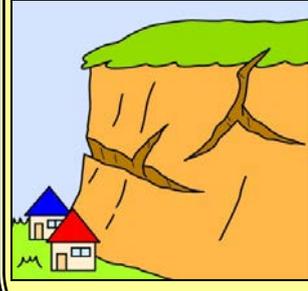
がけから水がわき出てきたとき。



雨が降り続けているのに、沢の水が減っているとき。



斜面や斜面の上にある池や沼の水の量が、急に変わったとき。



がけに割れ目ができたとき。

お問い合わせ先

国土交通省 新庄河川事務所  
赤川砂防出張所

〒997-0404 鶴岡市下名川字落合227  
TEL 0235-53-2841 FAX 0235-53-2807

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>  
Eメール [shinjou@thr.mlit.go.jp](mailto:shinjou@thr.mlit.go.jp)

ご覧いただいた感想や、砂防事業・国土交通省の事業へのご質問、ご意見をお寄せください。



レッド君